

令和7年第1回山元町議会定例会 一般質問通告一覧

令和7年3月4日（火）・5日（水）午前10時 開会

質問日	No.	通告者	件 名	答弁者
3月4日 (火)	1	竹内 和彦	1 坂元地区の排水対策について 2 上下水道管の維持管理等について 3 いじめと不登校の現状と対策について	町 長 教育長
	2	齋藤 俊夫	1 再編小学校具現化の進捗について 2 いちご栽培を巡る諸問題について 3 公約等の実現と健全財政について	町 長 教育長
	3	品堀 栄洋	1 官民一体となった買物弱者への対策について 2 交通弱者への対策について	町 長
	4	高橋真理子	1 「子育てするなら山元町」の支援推進策について 2 ひとが集う魅力的な町づくりについて	町 長 教育長
3月5日 (水)	5	大和 晴美	1 防災・減災について 2 元気で健やかに暮らせる施策について	町 長
	6	岩佐 孝子	1 東日本大震災復興事業の完遂について 2 魅力あるまちづくり	町 長
	7	遠藤 龍之	1 一人暮らし等高齢者対策について 2 学童保育事業の取り組みについて 3 国保税の引き上げを見直す考えはないか	町 長
	8	伊藤 貞悦	1 町の組織体制と職員数について 2 町の活性化について	町 長 教育長

(8人 19件)

通告番号	1	1 番 竹内 和彦 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
1 坂元地区の排水対策について 地球温暖化による集中豪雨が全国各地で起きている。特に昨年能登半島地方の集中豪雨では、甚大な被害をもたらしている。日本全国いつでも集中豪雨の可能性はあるので、豪雨に対する備えを万全にすべきとの考えから、次のことについて伺う。 (1) 坂元地区の排水能力の現状分析と抜本的な対策について (2) 抜本的な排水対策の実施の見通しについて	町 長
2 上下水道管の維持管理等について 埼玉県八潮市で起きた下水道管の腐食が原因とされる道路陥没事故は、今や老朽化した設備を抱える全国の自治体どこにでも起こり得る問題であることなどから、上下水道全般にわたり本町の安全性を確認するため、次のことについて伺う。 (1) 大震災（老朽化を含む）などによる上下水道管へのダメージ等の把握とその対策について (2) 本町の有収水量と不明水量の調査結果、及び不明水の解消に向けた対策について (3) 発がん性が指摘されている有機フッ素化合物「ピーファス（PFAS）」に係る本町の水質調査結果について	町 長
3 いじめと不登校の現状と対策について (1) 文部科学省は、いじめの「重大事態」調査に関するガイドラインを近く改定するとしている。いじめ防止対策推進法施行から10年が経過しているが、依然として対応が不十分なケースが多く、子どもの悩みや苦しみに迅速に対応できるよう万全の体制構築が求められている。特に、重大事態発生の4割近くについては、学校側ではいじめとして認知していなかったようであるが、こうしたことなどを踏まえ、町内小・中学校の現状と対策について伺う。 (2) 同省では、2023年度、全国の小・中学校における問題行動・不登校調査を公表した。これによると全国の小・中学校で30日以上欠席した不登校の児童生徒は34万6,482人で最多を更新した。また、宮城県では、1,000人あたりの不登校児童生徒数が46.7人で全国最多とのことであるが、県内の実態に鑑み、町内小・中学校の現状と対策について伺う。	教育長

通告番号	2	10番 齋藤 俊夫 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
1 再編小学校具現化の進捗について (1) 6年度事業である再編小学校の基本構想と基本計画策定、及び学校形態や施設形態、候補地選定、保護者や町民への説明機会など、それぞれの進捗状況について (2) 理想的な再編小学校実現に向け、新たに用地を取得し校舎を整備した場合の推定事業費について (3) 理想を追求しつつも、現在の校舎や学校用地の有効活用を前提に、生徒数の減少傾向に即した施設規模や、限りある財政負担などを見据え、段階的かつ現実的な対応の是非と推定事業費について	町 長 教育長
2 いちご栽培を巡る諸問題について (1) いちご栽培の沿革を振り返り（栽培開始の契機と時期、栽培農家数や面積、形態、生産額、従事者の雇用等の推移）、いちご栽培が農業振興や町の活性化に果たしてきた役割に対する認識、及び生産年齢人口の急減を見据えたいちご栽培の担い手・後継者の確保対策について (2) 被災地域農業復興総合支援のひとつ、「いちご団地整備事業」で取得した町有財産譲渡（農業用施設）の前提となる、耕作者の土地所有に向けた地権者からの譲渡の進捗状況、及び町有財産（物品と不動産）の譲渡方針について	町 長

通告番号	2	10番 齋藤 俊夫 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
3 公約等の実現と健全財政について (1) 新年度予算の執行を前提とした公約の着手率と達成率、及び就任後3年間の一般質問で検討や課題、実行するとした答弁事案(件数と内容)、地区懇談会での要望事案など、それぞれの対処状況について (2) 中期財政見通しが果たす役割、及び財政見通しの更新に当たり留意した点と見通しの在り方について ア 財政見通しが果たす役割と財政健全化4指標、特に将来負担比率との関係性は。 イ 財政見通しの更新に当たり、議会答弁で約束した「総量抑制」の反映、次世代の負担増となる起債・借金借り入れの抑制努力は。 ウ 財政見通しの期間を跨いで見込まれる大口財政需要見通しの詳細明記を。 (3) 身の丈に合ったシビアな新年度予算編成、及び説明責任の履行について ア 一般会計予算規模が前年度当初予算を上回り、取り巻く環境に沿った予算編成とならなかった理由、及び中期財政見通しとの整合性は。 イ 一部事務組合に対する負担金のタイムリーな説明責任の履行 (4) 根拠や必要性、明確な優先順位等を踏まえた事業の精査、熟考を重ねた真摯な施策提案について ア 3度目の予算計上となる大地の塔へのトイレ設置整備費用は、これまでの関連予算や請願の審議結果と重みをどのように捉えた提案か。 イ トイレ設置の根拠や基準、公共施設等の総合管理計画と個別計画との整合性、代替性の検討(屋外ユニットトイレやトイレカーの導入)等を含めた必要性和緊急性、及び選択と集中や優先順位による事業の精査等を踏まえた説明責任の明確化 ウ 近隣市町との足並みが揃わない復興公営住宅入居世帯の家賃減免措置を、更に1年延長することの意義と効果は。	町 長

通告番号	3	8番 品堀 栄洋 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
1 官民一体となった買物弱者への対策について 現在、民間事業者が主体的に取り組んでいる買物弱者への支援策の一つとして、移動販売や配達サービスが挙げられる。 しかしながら、民間事業者が実施しているこれらの移動販売等の日時や条件、及びルート案内などを網羅した広告やパンフレット等が無いのが現状である。 各地区において、障がいのある方、高齢者、免許返納者、また、特に適切な支援サービスへのつなぎ役である行政区長や民生委員との情報共有を図り、買物弱者等への支援となる各種取り組みが必要と考えることから、以下の点について伺う。 (1) 民間事業者と連携を図り、広報やSNSなど様々な手段を用いて買物弱者等へタイムリーな情報を周知する考えはないか。 (2) 民間事業者が、買物弱者等に対して行っている様々な支援に対し、町で補助を行うなど新たな施策を講ずる考えはないか。	町 長
2 交通弱者への対策について 交通手段を公共交通に頼らざるを得ない交通弱者について、更なる対策が必要と考えられることから、以下の点について伺う。 (1) 昨年末に見直された新たな町民バスの利用料金設定について、特に交通弱者に対する考え方を伺う。 (2) 障がいのある方に対する新たな町民バスの利用料金について見直す考えはないか。 (3) 町民バス（予約運行型）について、町内へ通勤や通学する町外からの交通弱者に対し利用を拡充する考えはないか。	町 長

通告番号	4	2番 高橋 眞理子 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
1 「子育てするなら山元町」の支援推進策について (1) 官民連携という視点から、子育て支援に関わる関係団体等（ロボサバBASE 山元など）の活動に対する支援の継続・強化を図る考えはないか。 (2) 蔵王町や松島町では、国の教育課程特例校制度を活用し、英語を身に着けるとともに、コミュニケーション能力の向上等を目的に導入していることが話題となっている。我が町においても、子どもたちの自信や自己表現力、国際的な視野を広げ、ひいては、将来、豊かな人生をも送ることができるよう、この制度を取り入れる考えはないか。 (3) 子どもや保護者の多岐にわたる柔軟な視点は大変重要と考える。こうした視点を今後のまちづくりの貴重な判断材料とするために、例えば、地域おこし協力隊を活用して自由に話し合う機会をつくり、そこで提案された内容を町の施策に取り入れる考えはないか。 (4) 安心して、楽しく活動できる子どもの屋内遊び場については、子どもの創造的思考や認知能力の発達など重要な役割を果たすと言われているが、町の子どもたちを取り巻く環境の現状認識について (5) 町内の放課後児童クラブに待機児童は発生しているのか。発生している場合、その解消策について (6) 子育て関連情報については、町のホームページで「子育て応援お役立ち情報」として周知されているが、さらなる充実を図るため、先進自治体の例を参考に、より魅力的な発信に努める考えはないか。	町 長 教育長

通告番号	4	2番 高橋 眞理子 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
2 ひとが集う魅力的な町づくりについて 本町の知名度は、報道機関をはじめ個人のSNSなどを通じた発信もあり、ひと昔前より随分上昇してきていると考えられるが、交流人口や関係人口のさらなる増加を図るため、次のことについて伺う。 (1) 昨年11月に再建された大條家茶室や今年リニューアルオープン予定の深山山麓少年の森等によって、交流人口等の拡大が見込まれる。今後、どのようなイベントを企画し、情報を発信しようとしているのか。 (2) 令和5年第2回定例会において一般質問した子供たちが企画するイベントについて、「具体的な開催時期などについて今後判断する」とのことであつたが、その後の検討結果と判断は。 (3) 同質問中、町出身者の歌手や著名人など、ふるさと観光大使として任命する考えについて、「前向きに検討させていただく」とのことであつたが、その検討結果は。 (4) 「やまもと民話の会」によって語られる山元町の民話は、本町の風土や歴史・文化を伝える貴重な観光資源でもありと考えられる。町の認知度向上に加え、会の活動をPRするなどの機会の創出に努める考えはないか。 (5) 復興支援を受け関わった自治体の応援もあり開催された「ふれあい産業祭」の再開について	町 長 教育長

通告番号	5	5 番 大和 晴美 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
1 防災・減災について (1) 指定避難所の住環境整備（トイレ・キッチン・ベッド）について ア トイレの備蓄の現状と課題は。 イ 温かい食事の提供は可能であるか。 ウ 早期のベッド化のため、ベッドの備蓄を追加する考えはあるか。 (2) 防災に関する協定について ア 段ボールベッドに関する協定はあるのか。 イ 災害時における応急的な対応が可能な仮設住宅などの設置に関する協定を締結する考えはないか。	町 長
2 元気で健やかに暮らせる施策について (1) 令和7年度から開始される予定の65歳以上の方などを対象とする带状疱疹予防ワクチン接種について ア 国の定期接種開始に伴い、本町はいつからの接種を目指しているのか。 イ 対象要件や助成金額は国の示す範囲か。 ウ 受け入れ医療機関は決まったのか。 エ 受診勧奨はどのように行うのか。 (2) 胃がん検診について ア 内視鏡検査導入に向けて郡医師会等とどのように協議が行われてきたのか。 イ 内視鏡検査の受け入れ医療機関は。 ウ 受診率向上のための周知はどのように行うのか。	町 長

通告番号	6	11番 岩佐 孝子 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
1 東日本大震災復興事業の完遂について 東日本大震災により甚大な被害を受けた我が町では、全国から多くのご支援を頂きながら、町民一丸となって復旧・復興に全力で取り組み、復興事業についてはほぼ完遂に近づいている。 しかしながら、現在においても、なお課題が残る次のことについて伺う。 (1) 慰霊碑「大地の塔」周辺の環境整備、特に令和7年度当初予算に計上されているトイレの再整備について (2) 新坂元駅周辺地区「町営道合住宅」建設に際し、同時に住民の安全・安心を守るため整備を約束した町道25号町戸花線などの通称「四番作道」の完遂計画について (3) 東部地区農地整備事業については、今年度、換地や登記は完了しているが、多くの町有地の活用、及び未耕作地の現状と解消対策について	町 長
2 魅力あるまちづくり 全国的に人口が減少するなか、国立社会保障・人口問題研究所の消滅可能性自治体に指定されていたものの、町の移住定住施策等が功を奏し、昨年、消滅可能性自治体の対象から外れた。 その一方で、過疎地域（平成29年4月指定）については、市町村ごとの人口減少要件や財政力要件などが足かせとなり、なかなか脱却が見通せていない。そこで、町の活性化を図り、魅力のあるまちづくりを進めるため、次のことについて伺う。 (1) 元坂元中学校（坂元字大山）跡地の利活用計画について (2) さらに歳入増加を図るため、ふるさと納税（企業版も含む）やクラウドファンディングをより積極的に活用する考えについて (3) 町にゆかりのある方を「町のPR大使」として委嘱する考えについて	町 長

通告番号	7	3番 遠藤 龍之 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
1 一人暮らし等高齢者対策について 一人暮らし等の高齢者世帯が増え、孤独死等深刻な問題も生まれているが、次の点について伺う。 (1) 高齢者一人世帯及び二人世帯の実態は。 (2) これまでの取り組みは。 (3) 孤独死の実態は。 (4) 今後の課題、対策は。	町 長
2 学童保育事業の取り組みについて 放課後児童クラブは「小学生のための放課後の過ごし方、居場所」「生活の場」として位置付けられているが、次の点について伺う。 (1) 取り組みの現状は。 (2) 待機児童の存在は。 (3) 「山元町こども計画」のなかでの位置付けは。 (4) 利用料の有料化に至った経緯は。 (5) 利用料の無料化を図る考えはないか。	町 長
3 国保税の引き上げを見直す考えはないか 今議会で国保税の引き上げが予定されているが、次の点について伺う。 (1) 国保世帯の生活実態をどうみているか。 (2) 多くの課題が指摘されているマイナ保険証の町の現状は。 (3) 「高額療養費制度」の負担上限額引き上げは、国保事業に影響はあるか。 (4) 国保世帯の厳しい暮らしの現状を考えたとき、国保税の引き上げを見直す考えはないか。	町 長

通告番号	8	12番 伊藤 貞悦 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
1 町の組織体制と職員数について 令和7年度から庁内組織が再編されることに関連して、以下のことについて伺う。 (1) 組織内の仕事量に偏りはないか。(仕事量と職員数のアンバランスにより、再編対象の有無にかかわらず、職員個々への仕事量が多く又は増加し、過重負担等となることはないか。) (2) 組織再編の目的の一つに「業務の平準化・効率化」とあるが、休職や病休者の現状から考え、組織の変更のみで十分対処できるのか。また、休職や病休等の原因の分析や検証をどのように行い、組織再編にどう反映されているのか。 (3) プロパー職員数について ア 現在の各課職員数で、町民に対するサービスの低下を招かないのか。 イ 複雑・多様化、かつ高度化する行政ニーズに対応するには、業務の基軸となるプロパー職員が一定数必要であると思うが、プロパー職員数が増えない見通しはなぜなのか。 ウ 民間委託や指定管理者制度の活用などアウトソーシングしても、組織体制等の課題に対し全てが解消されるわけではなく、むしろ負担増加となり得る懸念はないか。	町 長
2 町の活性化について 小中学生や若者世代に「夢や希望」の持てる施策やイベントの企画は考えられないか。 (1) 町制施行70周年を記念し、国内や外国と積極的に各種交流を考えられないか。 ア 中学生の希望者による短期交換留学・相互ホームステイ(国内・外国) イ 小学生の希望者による教育旅行(短期交換留学や国内外へのホームステイ) (2) 高校生や大学生の国内・国外留学制度や研修制度を町独自に立ち上げる考えはないか。 (3) 職員の人事交流や国内・国外研修については一部の部署で実施されているが、町の将来を担う若手職員をより幅広く、かつ中・長期的なスパンで育成するため、新たな人事制度の設計や見直しなどを行う考えはないか。	町 長 教育長